



ドリアス

富山県

NO.43 2007年4月

中央植物園だより



ソメイヨシノ *Prunus × yedoensis* Matsum. 'Somei-yoshino'

エドヒガンとオオシマザクラの交雑により生じたサクラで、江戸末期に、今の東京都豊島区にあった江戸染井村の植木屋が「吉野桜」の名前で売り出したと言われている。葉が展開する前に樹全体に花が咲く様子はたいへん華やかで人気があり、日本各地に植えられている。春が近づくと話題になる「桜前線」は北海道の一部と奄美、沖縄以外ではソメイヨシノが標準木になっている。

「夢幻」 撮影／中川重信さん(平成18年度私の植物写真展応募作品)

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

4月～6月のサンライトホール展示

「日本の桜『ソメイヨシノ』」 4月1日(日)～4月25日(水)



富山県中央植物園では昨年「今年の桜」を選び、紹介しています。黒部市の旧三日市小学校の校庭に植えられている「ソメイヨシノ」がこの春100年を迎えることなどから、今年は「ソメイヨシノ」に決定しました。この展示では日本人に最も人気がある植物のひとつである「ソメイヨシノ」に関する話題を様々な角度から紹介します。

4月15日(日)13:30～15:00には県民植物学講座①「富山県の桜」も開催します。

「第28回春のラン展」

5月3日(木)～5月5日(土)



昨年まで「野生ラン展」の名称で行ってきたラン展を今年から「春のラン展」として開催することになりました。富山県蘭協会会員が丹精込めて栽培した200鉢を越えるエビネや洋ラン、東洋ランを展示します。地元の愛好家を講師に、4日(金)には洋ラン、5日(土)にはエビネの栽培講習会も行われます。会場内ではランの即売会も行われます。

関連行事 ☆ラン栽培講習会

5月4日(金)・5月5日(土) 13:30～15:00

場所:中央植物園 ドリアスホール

入園料大人600円が必要です。

☆特別展「富山のランを守る」

4月28日(土)～5月9日(水)

場所:中央植物園

入園料大人600円が必要です。

二口善雄画伯『原色図譜 園芸植物』原画展

5月11日(金)～5月30日(水)

富山県中央植物園では、日本を代表する植物画家である故二口善雄画伯から寄贈していただく1700点あまりの植物画を企画展や入園券などに活用してきました。

新たに昨年10月3日、二口画伯のご遺族である田邊陽子様から二口画伯が描いた大変貴重な平凡社刊「原色図譜 園芸植物」の原画296点を含む372点の資料を当植物園へ寄贈していただきました。今回の原画展ではこの原画を元に発行された平凡社刊「原色図譜 園芸植物」とともに、寄贈された原画や二口画伯のスケッチ等を展示します。



左が平凡社の「原色図譜園芸植物」、右が寄贈された原画

植物園 トピックス

■「植物園の保護活動に対する国際アジェンダ」に登録されました。



国際アジェンダとは、植物園自然保護国際機構(BGCI)が植物園の生物多様性保全に対する役割及び保全活動について、その枠組みを定めたものです。富山県中央植物園はこれまでも生物多様性の保全に取り組んできており、このたび国際アジェンダに登録しました。

■「いこいの庭」が完成しました。



(財)富山県緑化造園土木協会によって、中央植物園の屋外展示園に完成した庭園は「いこいの庭」と命名され、3月2日(金)にはピンキオ保育園の園児らを招いて、完成式がおこなわれました。

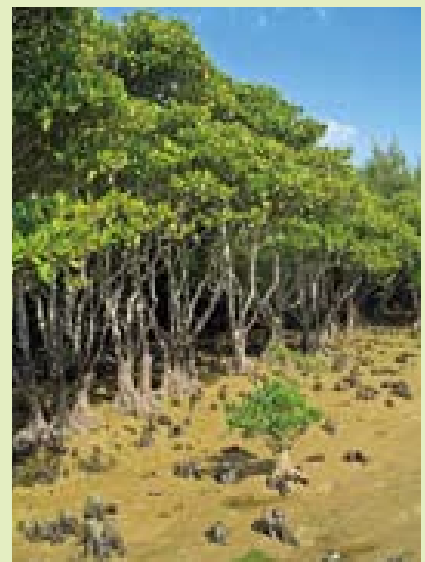
■友の会が沖縄植物ツアーへ行ってきました。



‘ドクターマンゴー’こと兼本主任の案内で1月21日(日)～23日(火)に友の会植物ツアーが沖縄を訪れました。ツアーでは、兼本主任が亜熱帯植



物の紹介や、隆起サンゴ礁上の植物、植生、マングローブ林など亜熱帯特有の植物と植生について解説し、さらに、沖縄特有な伝統的慣習、文化、また通常のツアーでは決して紹介されない、沖縄の裏話を兼本主任自身の体験談をまじえ紹介しました。



活動報告 (1~3月)

「干支にちなんだ植物展」

12月8日(金)～1月31日(水)



今年の干支「亥」にちなんで、イノシシとブタに関する名前がつけられている植物などを展示しました。

ボランティア基礎講座4

「植物の名前について」 1月7日(月)



植物には日本で使われる和名のほかに英名、中国名、学名などがあり、その由来などを紹介しました。

「電子顕微鏡で植物を観察しよう」

1月21日(日)



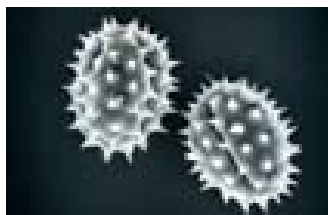
アフリカハウセンカの花粉



クロマツの花粉



スギの花粉



ツワブキの花粉

電子顕微鏡を使って、普段は見るできない植物のミクロの世界を観察しました。写真は電子顕微鏡で観察した様々な植物の花粉です。

ボランティア基礎講座5「植物園の研究活動と自然環境の保全」 2月25日(日)



今年度「ボランティア基礎講座」として5回にわたって行われたシリーズで、今回が最終回でした。植物園の職員により、自然環境や生物多様性の保全についての概要や富山県中央植物園で行われている研究活動について紹介がありました。

第35回富山県蘭まつり大会

3月2日(金)～4日(日)



知事賞を受賞したデンドロビウム

今年は特別展「皇室にゆかりのある名前がついている蘭」で、「ソフロレリオカトレヤ ノーブルレッド ‘プリンス ヒサヒト’」などを展示し、大勢の入園者でにぎわいました。

私の植物画展

3月6日(月)～28日(水)



今年も県内外から100点を越える出品があり、植物画の美しさや緻密さに入園者は感心していました。

18年度研究紹介展 2月2日(金)～28日(水)・18年度研究発表会 2月4日(日)

研究発表展と発表会は植物園の職員が日ごろ行っている研究の成果を紹介するもので、18年度は財国際花と緑の博覧会記念協会助成事業として行われた「アヤメ科植物遺伝子資源保全のための日中共同研究」を含め、次のような研究が紹介されました。



サンライトホールで行われた発表展

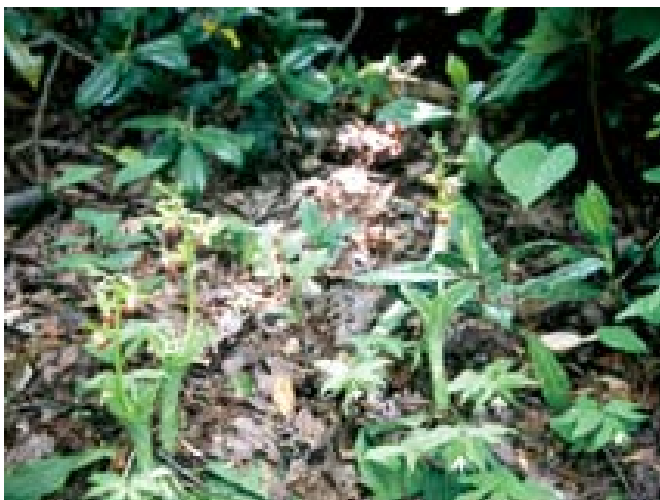


2月4日の発表会の様子

- ・ 山下寿之 「富山県内のアヤメ科植物の分布と植生」
- ・ 高橋一臣 「頼成の森水生植物園のハナショウブ品種のデータベース化」
- ・ 中田政司 「富山県産アヤメ科植物の染色体数
— 野生アヤメ属、ヒオウギ、および頼成の森水生植物園栽培のハナショウブ園芸品種について」
- ・ 志内利明 「中国雲南省と日本に共通して分布するアヤメ科植物4種の生育状況」
- ・ 大宮 徹 「中国雲南省産アヤメ属植物の地下茎について」
- ・ 大原隆明・橋屋 誠 「南砺市縄ヶ池のフロラ調査」
- ・ 橋屋 誠 「富山県で記録されたきのこ(11)」
- ・ 吉田めぐみ 「富山県における高山帯域の植生分布について」
- ・ 神戸敏成 「富山県産絶滅危惧植物サルメンエビネの種子発芽に及ぼす諸要因」
- ・ 兼本 正 「タイワンハンノキ林の構造」

研究紹介◎ 『バイオテクノロジーで富山のランを守る』

主任研究員 神戸 敏成



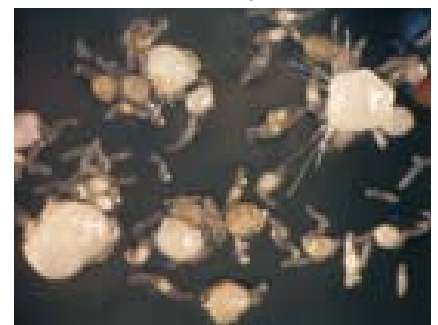
富山県に自生するサルメンエビネ

現在、日本の野生植物の約1/4が絶滅の危機にあるといわれています。特に、ラン科植物では300分類群中、約200分類群が絶滅の危機に瀕しています。植物が絶滅に向かう原因には自生地の遷移や開発による自生地の破壊などがあります。ラン科植物ではその美しさが禍した園芸目的の採取が大きな要因のひとつといわれています。

絶滅の危機にある植物を守り、これからも持続的に利用することができるようにするために、バイオテクノロジーを用いて富山県産のランを増殖して守る試みに取り組んでいます。

富山県に自生していたサルメンエビネの完熟した種子を殺菌し、NDM (New Dogashima Medium: Tokuhara & Mii 1993) 培地を基本とした培地に無菌的に播種を行い、培地中に添加する植物ホルモンの種類や濃度、培養時の光環境や培養温度を組み合わせ、発芽の最適条件を探りました。

その結果、①培地にBA (植物ホルモンの一種) を添加すること、②暗黒で培養すること、③20℃で培養することがサルメンエビネの完熟種子の発芽には最も良い条件であることがわかり、最も良い場合には約60%の種子が発芽しました。



試験管内で発芽したサルメンエビネ。播種後約4ヶ月。

催し物のご案内

■サンライトホール展示

日本の桜「ソメイヨシノ」
4月1日(日)～4月25日(水)
9:00～17:00
入園料が必要です

第28回春のラン展

5月3日(木)～5月5日(土)
9:00～17:00
富山県蘭協会との共催で約250株のエビネや洋ランを展示します
入園料が必要です

二口善雄画伯「原色図譜 園芸植物」 原画展

5月11日(金)～5月30日(水)
9:00～17:00
入園料が必要です

サツキ展

6月1日(金)～6月3日(日)
9:00～17:00
地元愛好家が育てているサツキを展示します
入園料が必要です

私の植物写真展

6月8日(金)～7月4日(水)
9:00～17:00
6月3日の講習会で撮影した写真と一般から募集した植物写真を展示します(講習会作品の展示は6月22日になります)
入園料が必要です

キョククの七夕飾り

7月6日(金)～7月11日(水)
9:00～17:00
世界最大と言われているキョククに子どもたちが七夕飾りをします
入園料が必要です

■その他の展示

バラのハンギングバスケットコンテスト

4月21日(土)～5月9日(水)
9:00～17:00
講習会で作製した作品の展示とコンテストを行います
入園料が必要です

■観察会・講座・講習会

★講演会「里帰りした日本の桜「ソメイヨシノ」」
4月1日(日) 13:30～15:00

場所/ドリアスホール
講師/大原隆明(植物園職員)
定員/50名
参加費/入園料が必要です
講演会終了後にアメリカから里帰りしたソメイヨシノの植樹を行います

★栽培講習会「ミセバヤ」◆要申込

4月8日(日) 13:30～15:00
場所/実習室
講師/中田政司(植物園職員)
定員/24名
参加費/鉢代1000円

★県民植物学講座①「富山県の桜」

4月15日(日) 13:30～15:00
場所/研修室
講師/大原隆明(植物園職員)
定員/50名 参加費/無料

バラのハンギングバスケット講習会

◆要申込
4月21日(土)
10:00～12:00・13:30～15:30
場所/ドリアスホール
講師/日本ハンギングバスケット協会富山県支部会員
定員/各25名
参加費/2000～3000円

★ランの栽培講習会

5月4日(金) 13:30～15:00
5月5日(土) 13:30～15:00
場所/ドリアスホール
講師/富山県蘭協会会員
定員/50名
入園料が必要です

デジカメ講座「花を撮ろう」

◆要申込(富山県ITセンター:076-444-7887へお申込ください)
5月20日(日) 9:50～15:30
場所/研修室、園内、富山県ITセンター
定員/16組 参加費/無料
富山県ITセンター情報工房との共催行事で、午前中は植物園で花を撮影し、午後はITセンターでオリジナル植物図鑑を作ります

第28回 植物画講習会 ◆要申込

5月26日(土)・27日(日)
10:00～16:00
場所/研修室
講師/豊田路子・岡田宗男(植物画家)
定員/50名
参加費/花代500円

植物写真教室

「やさしい花の撮り方」◆要申込
6月3日(日) 13:00～16:00
場所/研修室・園内
講師/富山県写真家協会会員
定員/40名
参加費/無料

★栽培講習会「クレマチスの栽培」

◆要申込
6月10日(日) 13:30～15:00
場所/実習室
講師/越野淳一(友の会会員)
定員/24名

★県民植物学講座②「富山県の植生」

7月1日(日) 13:30～15:00
場所/研修室
講師/山下寿之(植物園職員)
定員/50名 参加費/無料

■月例行事

日曜植物案内

4月1日(日)・4月8日(日)・5月6日(日)・5月13日(日)・6月3日(日)・6月10日(日)・7月1日(日)

13:30～14:30 今年から第2日曜日を追加し、時間が午後になります
集合場所/サンライトホール
参加費/入園料が必要ガイドボランティアや職員が見頃の植物や話題の植物を解説します

◎要申込 事前の申込が必要です。前日までに「電話」でお申込みください。

◆要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から「往復はがき」で受け付けています。

★ボランティア養成講座

友の会会員募集中!

■特典 会員証を示しサインするだけで入園できます。/会報や植物園だよりが送られてきます。/多彩な友の会の行事に参加できます。/印刷物を割引で購入できます。

■会費 年額3,000円。5月以降、新規に加入される方は初年度会費の割引を受けられます。

■入会方法 植物園の入園窓口で随時受け付けています。

富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

休園日 毎週木曜日、年末年始(12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 600円
団体料金(20名以上) 480円
高校生以下無料

交通案内 JR富山駅から、富山地铁バス「ファボレ經由萩の島循環」に乗車し「中央植物園口」停留所下車、徒歩約8分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分